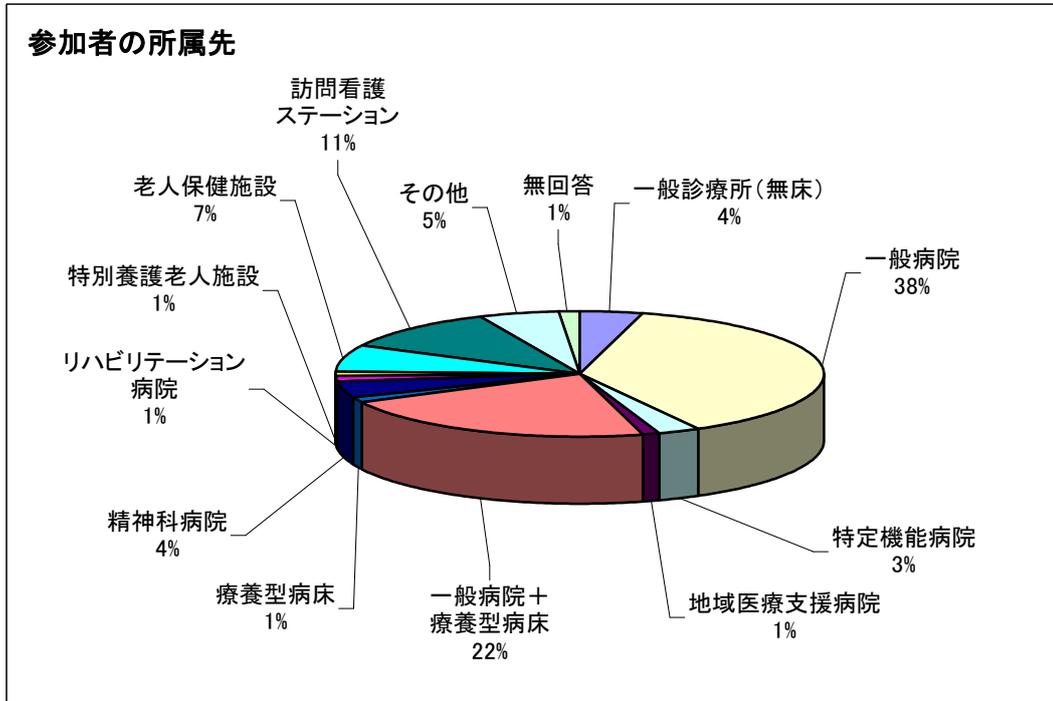


I. 参加者のプロフィール

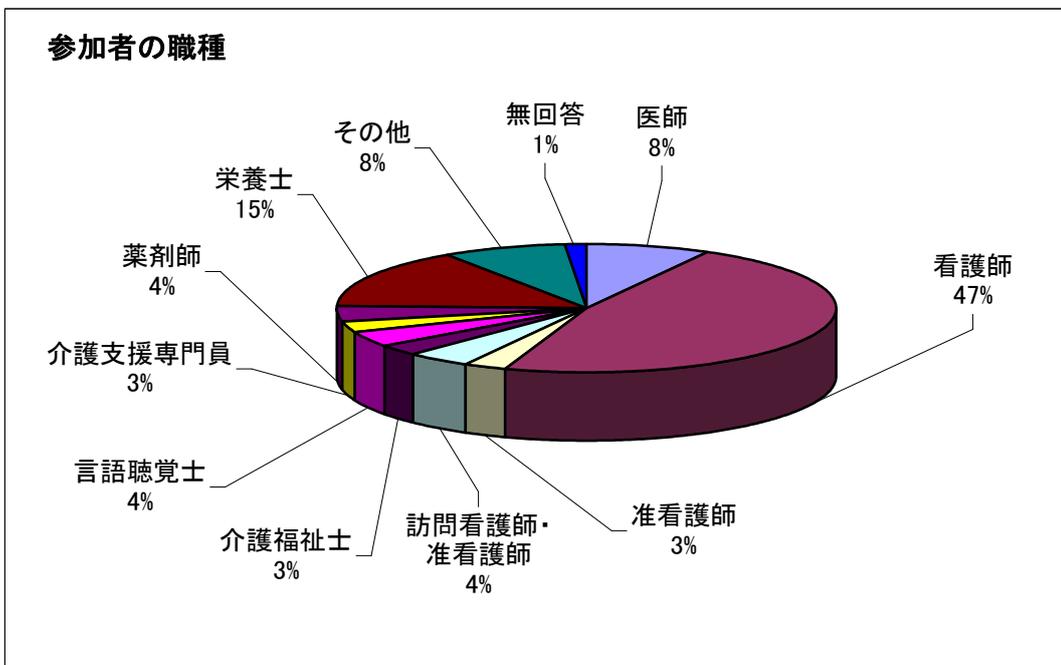
■参加者の所属先



その他：居宅支援事業所+在宅介護支援センター、
一般病院+療養病床+脳神経外科病院、看護専門学校、グループホーム

N=74

■参加者の職種



その他：病院保険師、事務局、教員

N=74

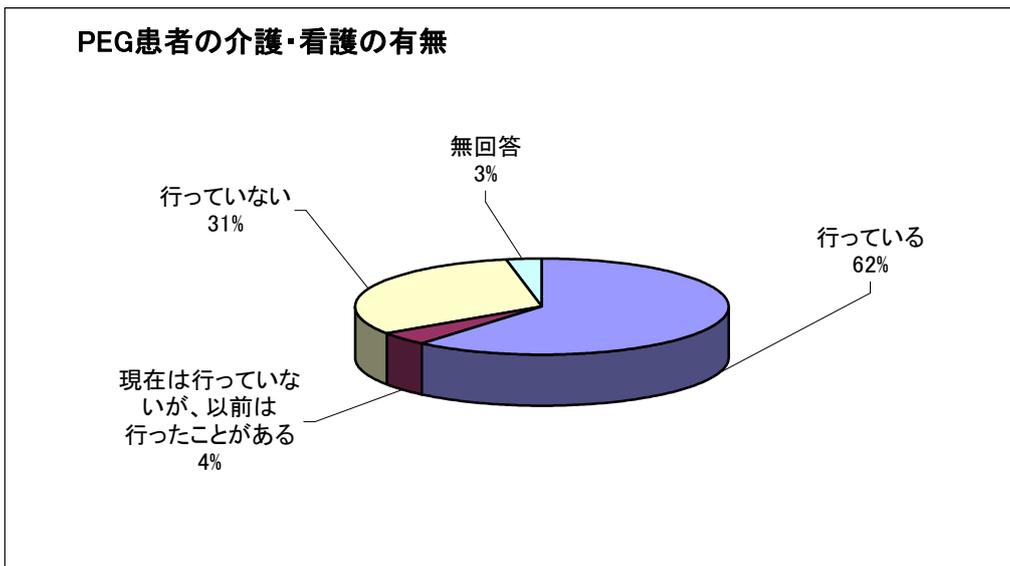
■所属先の所在地

N=74

市、郡	富岡市	高崎市	安中市	前橋市	甘楽市
人数	52	7	3	3	2
%	70.3%	9.5%	4.1%	4.1%	2.7%

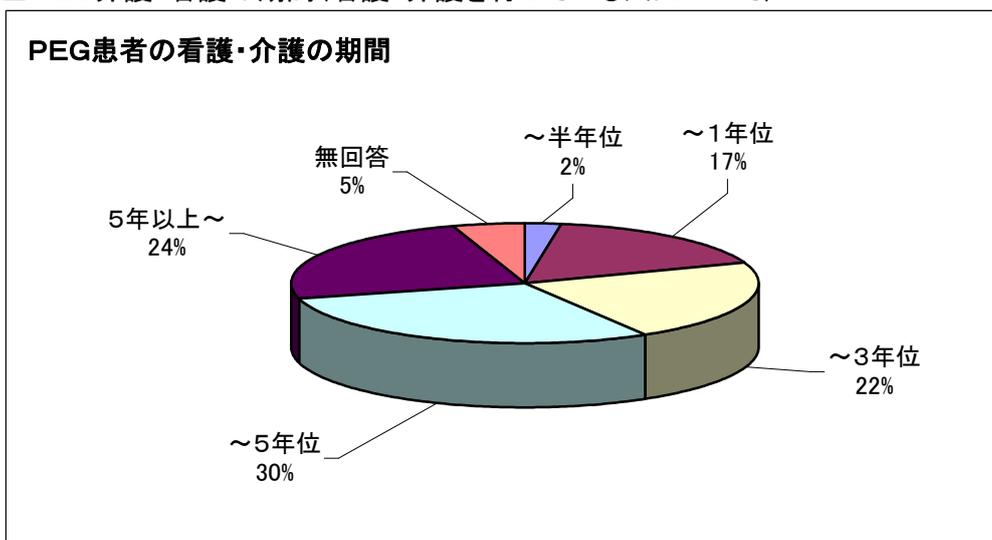
多野郡	藤岡市	群馬県のみ	無回答	合計
9	1	1	3	74
12.2%	1.4%	1.4%	4.1%	100.0%

■PEG患者の介護・看護の有無(医師以外の参加者について)



N=67

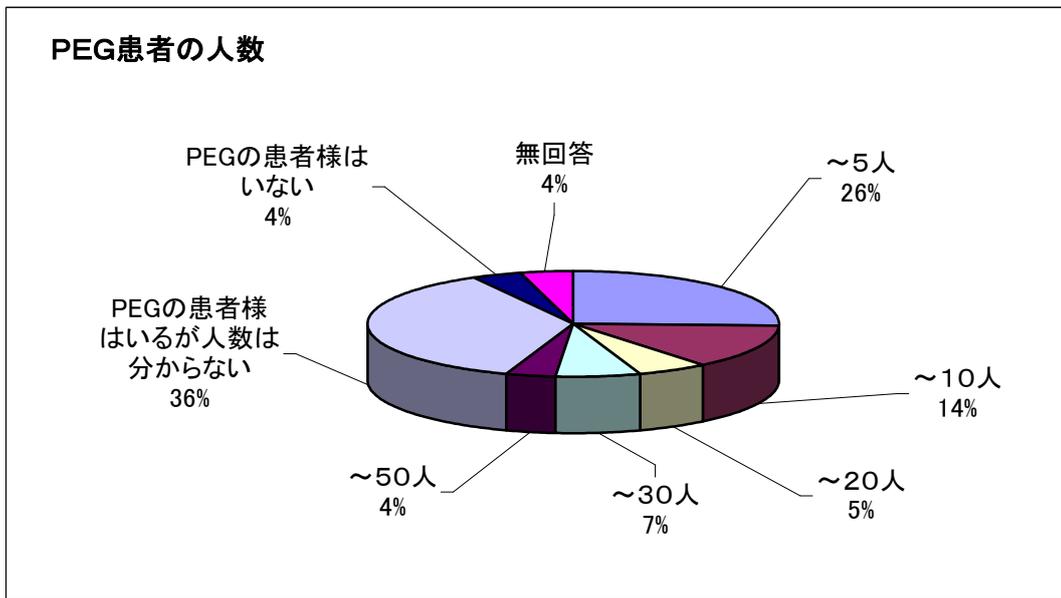
■PEG介護・看護の期間(看護・介護を行っている人について)



N=41

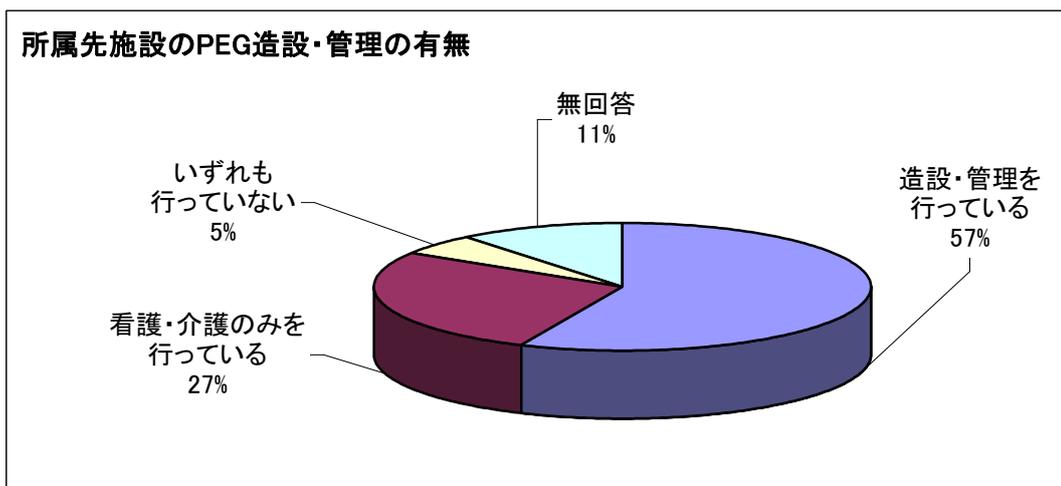
II. 所属先施設のPEGの現状

■ 所属先施設のPEG患者の人数



N=74

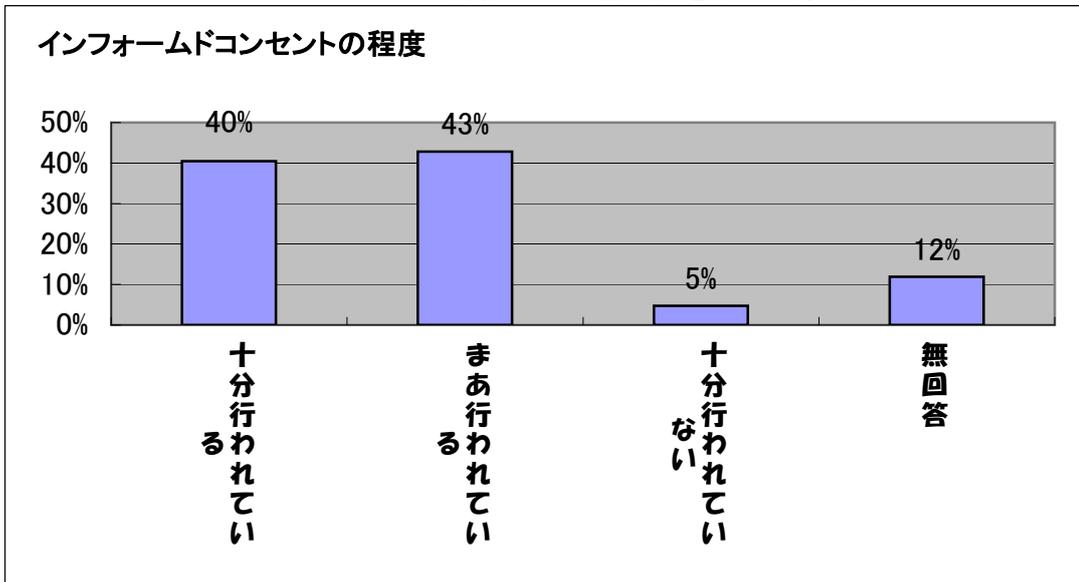
■ 所属先施設のPEG造設・管理の有無



N=74

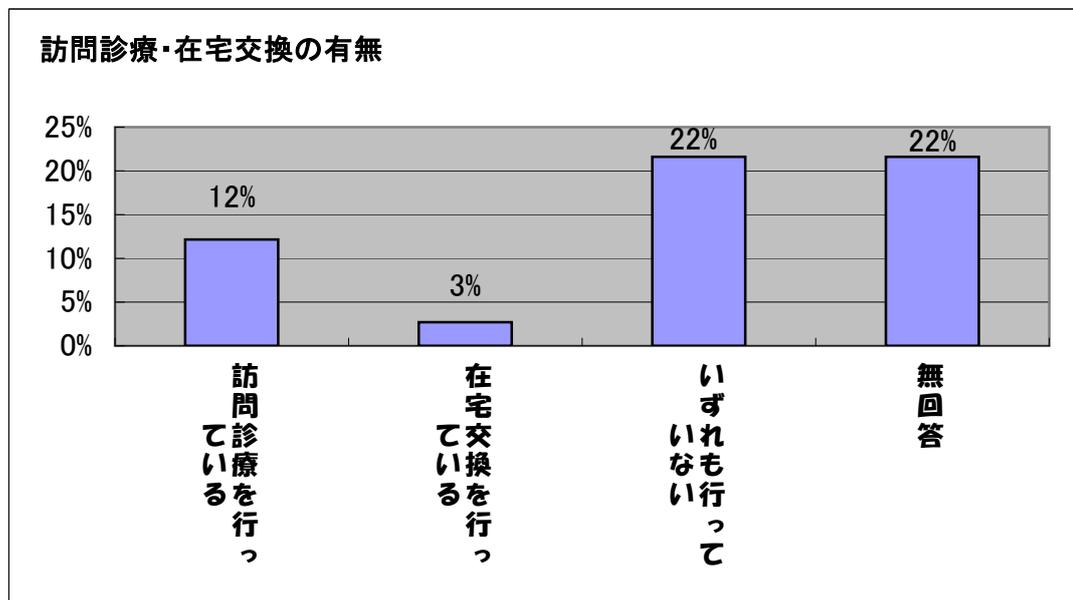
■PEG造設時のインフォームドコンセントの程度

(所属先がPEGの造設・管理を行っている参加者について)



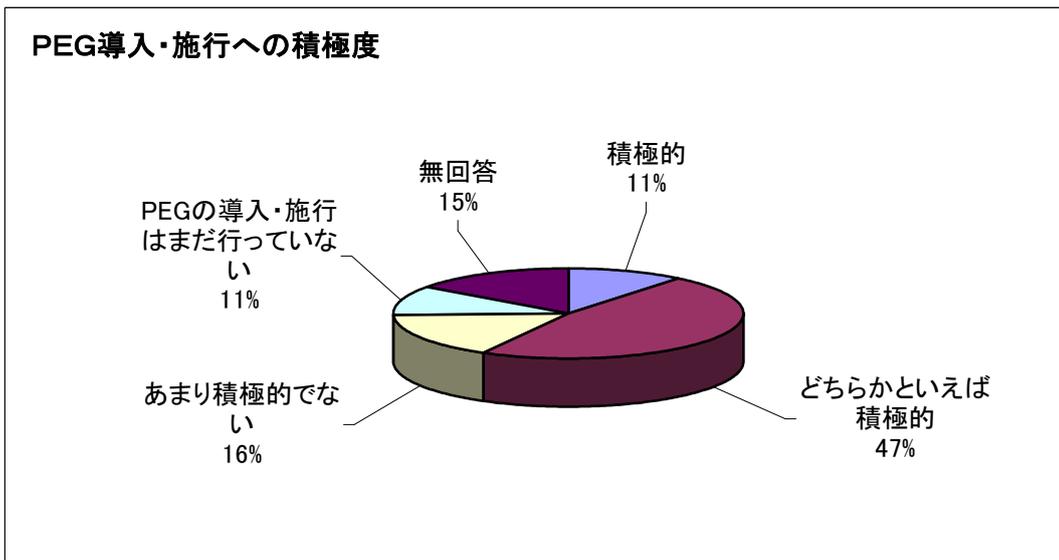
N=42

■所属先施設のPEGの訪問診療・在宅交換の有無



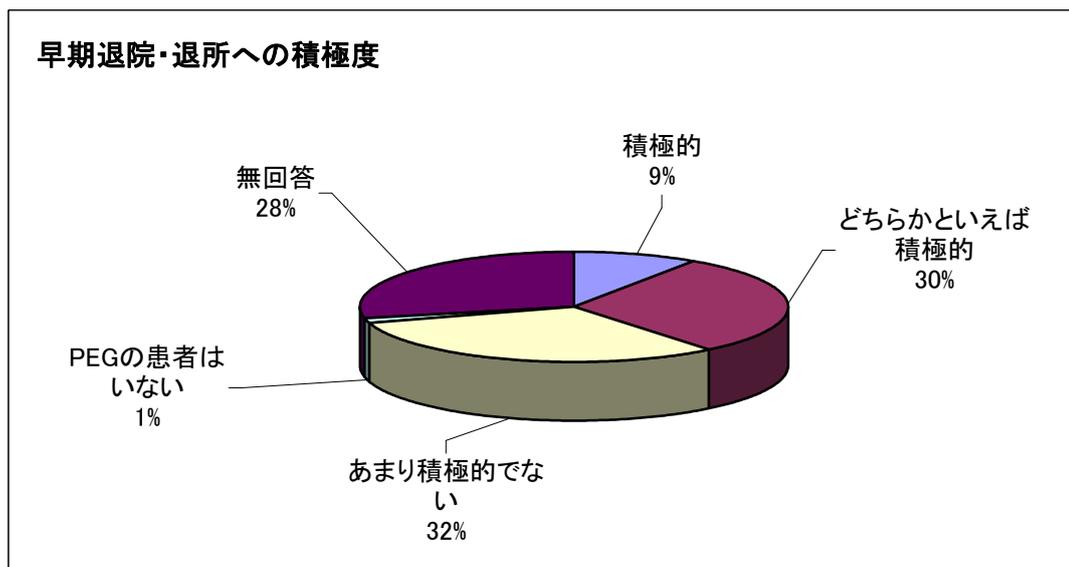
N=42

■ 所属先施設のPEG導入・施行への積極度



N=74

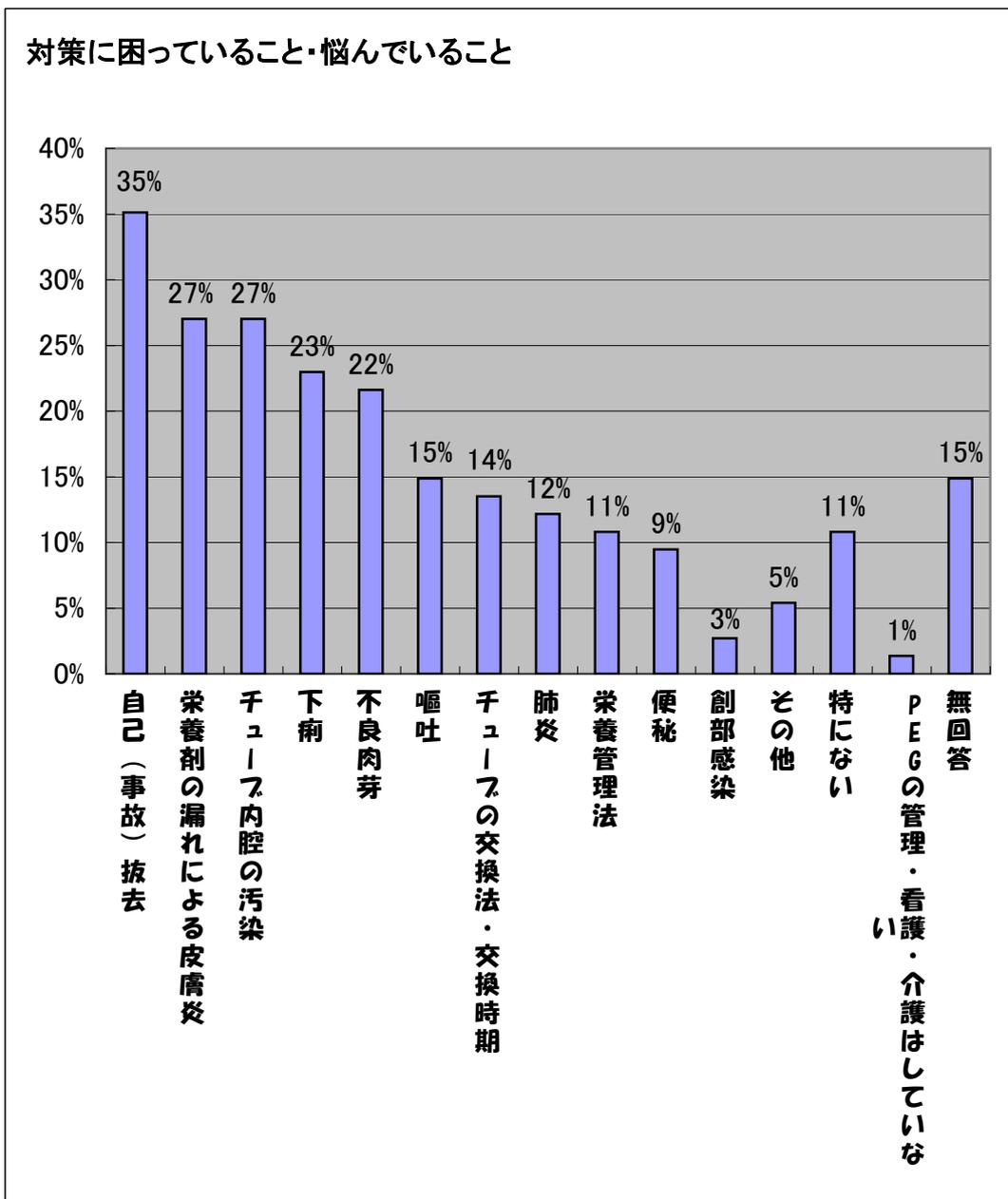
■ 所属先施設の早期退院・退所への積極度



N=74

Ⅲ. PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの（複数回答可）

■ 対策に困っている・悩んでいるもの

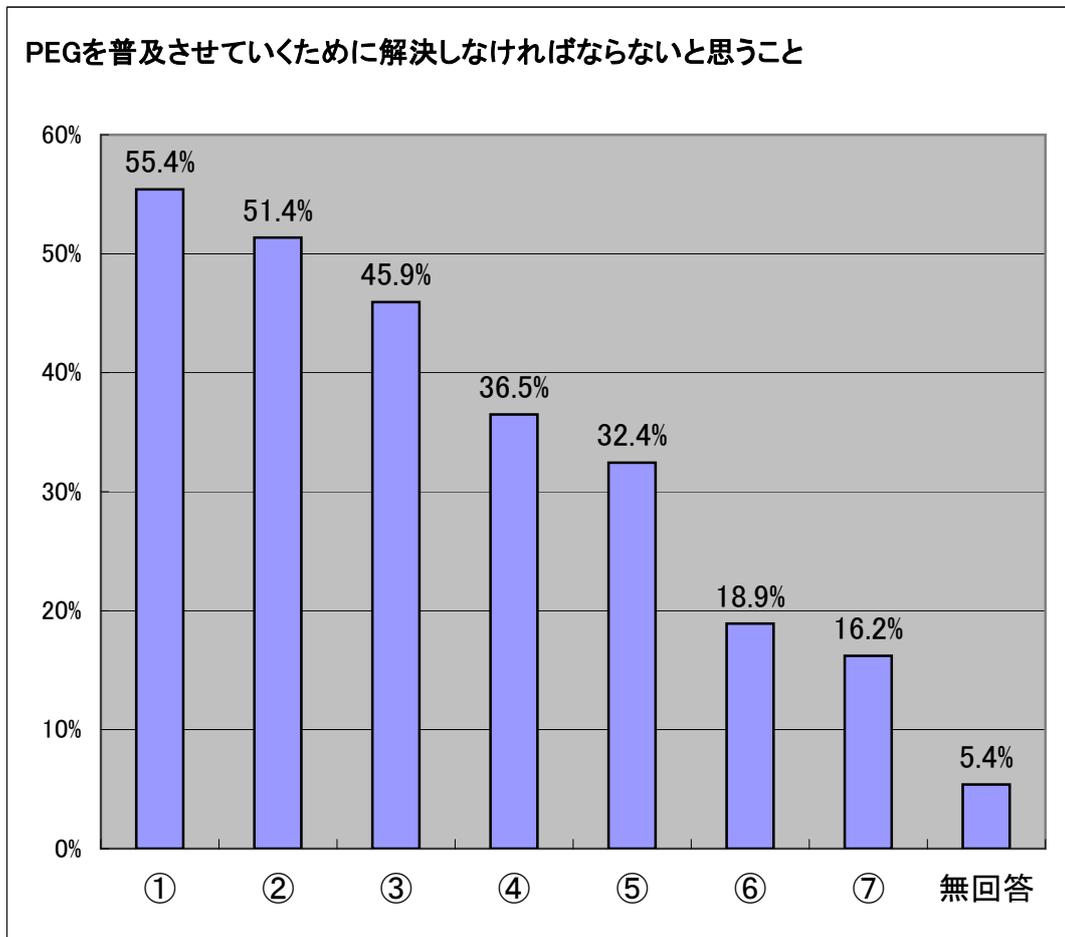


N=74

その他：逆流による誤嚥性肺炎に起因する発熱

IV. PEGをもっと普及させていくために、解決されなければならないと思うこと。
 (3つだけあげてもらった複数回答)

■PEGを普及させていくために解決されなければならないと思うこと



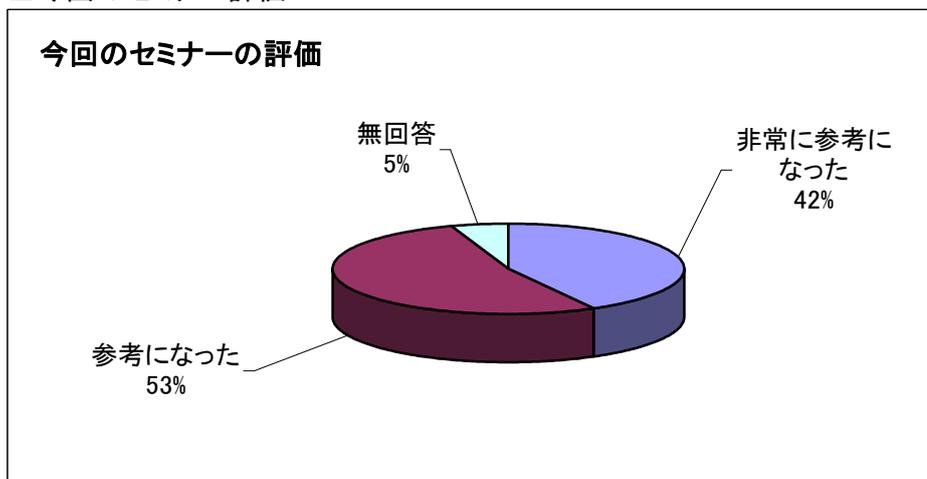
N=74

①	PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)	55.4%
②	造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。	51.4%
③	一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実	45.9%
④	PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化)	36.5%
⑤	食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみること。	32.4%
⑥	専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)	18.9%
⑦	PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。	16.2%

無回答 5.4%

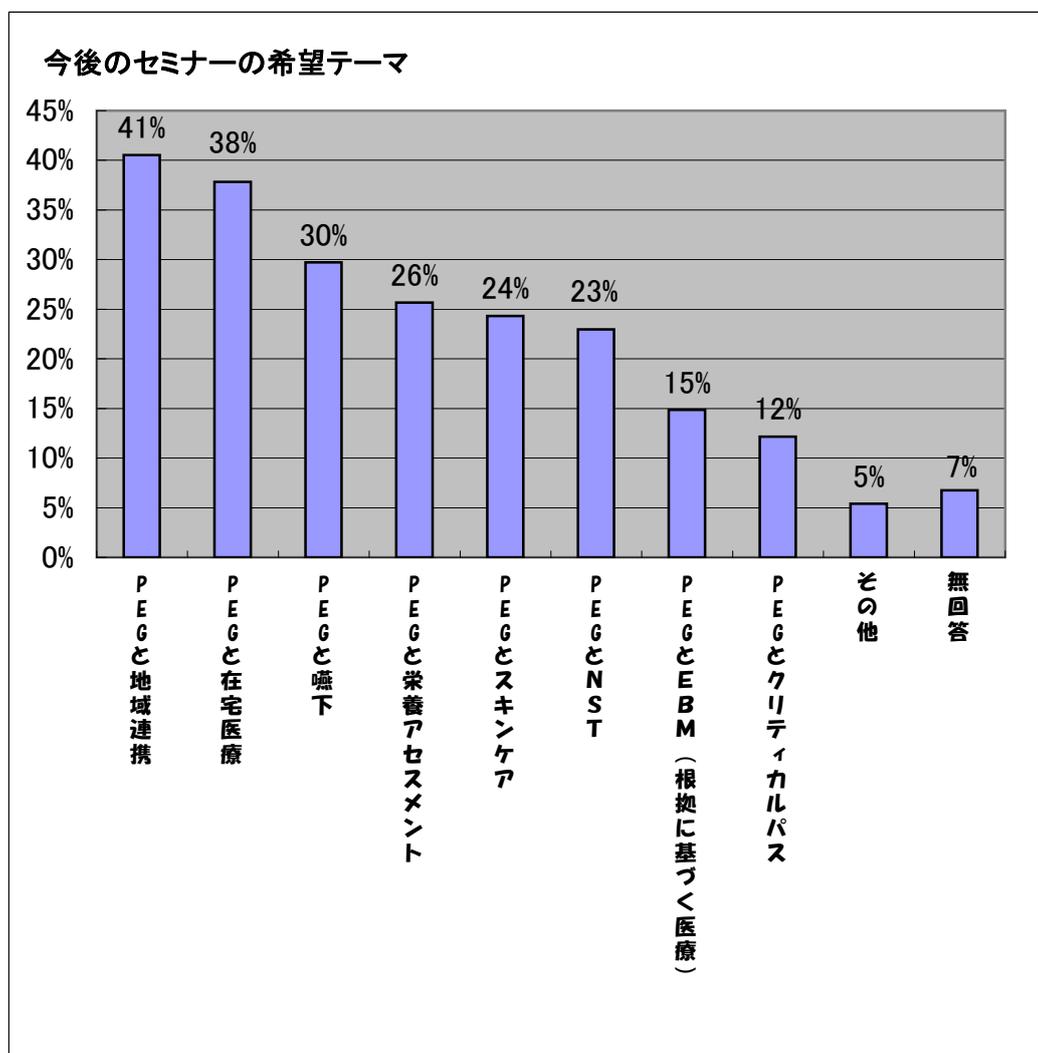
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ

■ 今回のセミナー評価



N=74

■ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)



N=74

その他: PEG造設後の長期予後(地域医療支援病院・医師)

PEG造設時の介入について(一般病院・看護師)

PEG造設の方が在宅復帰される際のケアマネとの連携(老人保健施設・ケアマネージャー)

VI. 自由回答意見

問. PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。
忌憚のないご意見をお聞かせください。

- ・ 直接許可が出て家へは帰れず、施設へ行くことが多い。施設ではPEGをしないと入所出来ないと言われる。PEGを作る必要があるのか、時間がかかっても口から食べられるのであれば食べさせるのか、悩む。経口摂取で頑張るか、PEGを作るのか、本当にこの患者様にPEGを作った方が良いのか(施設の入るために)倫理的な問題がある。(一般病院・看護師)
- ・ 介護保険で経口移行加算が取れるようになり、何人か経口移行できた。作ったら作りっぱなしではなく、家族も医療者も、口で食べることを目標にしてほしいと思う。最後に先生が話して下さったPEGの適応の是非を皆さんで考えていきたい。(一般病院・栄養士)
- ・ 本人が意思表示できないときのPEG挿入の適応についてのコンセンサスを作りたい。(地域医療支援施設・医師)
- ・ 造設するHpのドクターのみでなく、在宅でかかりつけ医としてPEGを管理(または交換)しているドクターが参加されていたので心強く感じました。訪問看護師とドクターで知識、情報を共有できる場としてとてもよいと思います。(訪問看護ステーション・看護師)
- ・ ドクターがNSTIについての関心が低く、PEG後の栄養補給の総カロリーの指示が低い例が多い。富岡地域の地域医療連携室の活動は、情報交換やマニュアル作りなどを行っている。このことで高崎にもできればと思う。(一般病院・看護師)
- ・ 医師・コメディカルの施設を越えた連携(全局的な)、(PEGに関して)同等知識の共有・情報交換が、必要だと思う。(特定機能病院・栄養士)
- ・ 在宅で手軽に作れる(半)固形化の流動食の作り方、指導の方法について知りたい。(訪問看護ステーション・訪問看護師)

セミナーについてのご意見

- ・ できれば三時間以内で終了できるようにしていただきたい。集中できないので。(一般病院+療養型病床・看護師)
- ・ 平日の日中に予定してもらいたい(一般病院・栄養士)
- ・ PDNに出席したことのない病院にも案内が必要だと思います。(一般病院+療養型病床・医師)
- ・ ある程度基本的なセミナーを行った後は、各職業別のセミナーも必要ではないか?(特定機能病院・栄養士)

第7回PDNセミナー(富岡地区)アンケート

回収サンプル数：74サンプル

回答番号：回答内容：実数：構成比

Q1. あなたの所属先は？（ひとつだけ）

(1)一般診療所（無床）：3:4.1%(2)一般診療所（有床）：0:0.0%(3)一般病院：28:37.8%(4)特定機能病院：2:2.7%(5)地域医療支援病院：1:1.4%(6)一般病院+療養型病床：16:21.6%(7)療養型病床：1:1.4%(8)脳神経外科病院：0:0.0%(9)精神科病院：3:4.1%(10)リハビリテーション病院：1:1.4%(11)特別養護老人施設：1:1.4%(12)老人保健施設：5:6.8%(13)有料老人施設：0:0.0%(14)障害者施設：0:0.0%(15)訪問看護ステーション：8:10.8%(16)居宅支援事業所：0:0.0%(17)在宅介護老人支援センター：0:0.0%(18)その他：4:5.4% 無回答：1:1.4%

Q2. あなたは次のどれにあたりますか？（ひとつだけ）

(1)医師：6:8.1%(2)看護師：35:47.3%(3)准看護師：2:2.7%(4)訪問看護師・准看護師：3:4.1%(5)介護福祉士：2:2.7%(6)作業療法士：0:0.0%(7)理学療法士：0:0.0%(8)社会福祉士：0:0.0%(9)臨床心理士：0:0.0%(10)言語聴覚士：3:4.1%(11)介護支援専門員：2:2.7%(12)訪問介護員（ホームヘルパー）：0:0.0%(13)薬剤師：3:4.1%(14)栄養士：11:14.9%(15)その他：6:8.1% 無回答：1:1.4%

〔医師以外の参加者に対して N=67〕

Q3. あなたは、現在、PEGの患者様の看護・介護を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)行っている：41：61.2% (2)現在へ行っていないが、以前は行ったことがある：3：4.5%
↓ (3)行っていない：21：31.3% 無回答：2：3.0%

N=41

Q4. PEGの看護・介護を行うようになってから何年位になりますか？（ひとつだけ）

(1)～半年位：1:2.4%(2)～1年位：7:17.1%(3)～3年位：9:22.0%(4)～5年位：12:29.3%(5)5年以上～：10:24.4%
無回答：2:4.9%

〔医師に対して N=6 結果の数字は実数〕

Q5. 先生のご担当診療科目は？（いくつでも）

(1)外科：3(2)内科：3(3)内視鏡科：0(4)その他：0:無回答：0

Q6. 先生がPEGの施行を行うようになったのは何年位前からですか？（ひとつだけ）

(1)～2,3年位前：0(2)～5年位前：3(3)～10年位前：1(4)10年以上前～：1(5)PEGの施行は行っていない：1:
無回答：0

Q7. PEGを施行した患者様の原疾患は何でしたか？（いくつでも）

(1)脳血管障害：5(2)認知症：4(3)神経疾患：2(4)呼吸器疾患：2(5)外傷：1(6)癌：1(7)その他：0(8)PEGの施行は行っていない：1 無回答：0

Q8. 腹腔内誤挿入を経験したことがありますか？（ひとつだけ）

(1)ある：1(2)ない：4(3)PEGの施行は行っていない：1 無回答：0

Q9. 貴院では、一年間に、PEGの施行を何件行っていますか？（ひとつだけ）

(1)～10件以下：1(2)～20件：0(3)～30件：1(4)～40件：2(5)～50件：0(6)51件以上～：0(7)PEGの施行は行っていない：2 無回答：0

〔以下、全員に対して N=74〕

Q10. 訪問看護・介護を含めて、御施設にはPEGの患者様は何人いらっしゃいますか？（ひとつだけ）

(1)～5人：19:25.7%(2)～10人：10:13.5%(3)～20人：4:5.4%(4)～30人：5:6.8%(5)～50人：3:4.1%(6)～100人：0:0.0%(7)101人以上～：0:0.0%(8)PEGの患者様はいるが人数は分からない：27:36.5%(9)PEGの患者様はいない：3:4.1% 無回答：3:4.1%

Q11. 御施設では、PEGの造設・管理を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)造設・管理を行っている：42:56.8% (2)看護・介護のみを行っている：20:27.0%
↓ (3)いずれも行っていない：4:5.4% 無回答：8:10.8%

N=42

Q12. 御施設では、PEGの造設にあたって、患者様ご本人やご家族へのインフォームドコンセントが十分に行われていると思いますか？（ひとつだけ）

(Q12のつづき)

(1)十分行われている:17:40.5%(2)まあ行われている:18:42.9%(3)十分行われていない:2:4.8%(4)PEGの造設は行っていない:0:0.0% 無回答:5:11.9%

Q13. 御施設では、PEGの訪問診療・在宅交換を行っていますか？（いくつでも）

(1)訪問診療を行っている:9:12.2%(2)在宅交換を行っている:2:2.7%(3)いずれも行っていない:16:21.6% 無回答:16:21.6%

N=74

Q14. 御施設は、PEGの導入・施行に積極的ですか？（ひとつだけ）

(1)積極的:8:10.8%(2)どちらかといえば積極的:35:47.3%(3)あまり積極的でない:12:16.2%(4)PEGの導入・施行はまだ行っていない:8:10.8% 無回答:11:14.9%

Q15. 御施設は、PEGの造設後に積極的なリハビリを行うなど早期退院・退所に心掛けていますか？（ひとつだけ）

(1)積極的:7:9.5%(2)どちらかといえば積極的:22:29.7%(3)あまり積極的でない:23:31.1%(4)PEGの患者はいない:1:1.4% 無回答:21:28.4%

Q16. PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるものがありますか？（いくつでも）

(1)自己（事故）抜去:26(2)肺炎:9(3)嘔吐:11(4)下痢:17(5)便秘:7(6)栄養剤の漏れによる皮膚炎:20(7)不良肉芽:16(8)創部感染:2(9)チューブの交換法・交換時期:10(10)チューブ内腔の汚染:20(11)消毒法:0(12)栄養管理法:8(13)トラブル時の相談先がない:0(14)その他:4(15)特にない:8(16)PEGの管理・看護・介護はしていない:1:無回答:11

Q17. PEGをもっと普及させていくためには、どのようなことが解決されなければならないと思いますか。次の中から3つだけ挙げてください。（3つだけ）

- | | |
|---|----------|
| ① PEGについての勉強会の充実。（PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など） | 55.4% |
| ② 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。 | 51.4% |
| ③ 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実 | 45.9% |
| ④ PEGの手技・管理の標準化。（手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化） | 36.5% |
| ⑤ 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみることを。 | 32.4% |
| ⑥ 専門医や専門看護者の育成。（造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など） | 18.9% |
| ⑦ PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。 | 16.2% |
| | 無回答 5.4% |

Q18. きょうのセミナーは参考になりましたか？（ひとつだけ）

(1)非常に参考になった:31:41.9%(2)参考になった:39:52.7%(3)参考にならなかった:0:0.0% 無回答:4:5.4%

Q19. 今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？（いくつでも）

(1)PEGと嚥下:22(2)PEGと栄養アセスメント:19(3)PEGとスキンケア:18(4)PEGと在宅医療:28(5)PEGとNST:17(6)PEGとクリティカルパス:9(7)PEGと地域連携:30(8)PEGとEBM（根拠に基づく医療）:11(9)その他:4 無回答:5

Q20. 所属先の所在地は？

県 市・郡

Q21. PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください？